

授業科目	E S 2 F 4 0	2 単位	必修	講義	2 学年前期	担当教員	教授 松浦 信二							
	社会的養護													
授業の概要	① 社会的養護の理念と基本的原理、社会的養護において保育士に求められる視点について理解する。 ② 社会的養護の歩み、子どもの権利、社会的養護にかかわる法令、社会的養護の実施体制としくみについて理解する。 ③ 施設養護の実際として、児童養護系施設、障害児系施設、治療・行動系施設、里親養育の基本原則について理解する。 ④ 社会的養護にかかわる専門職・専門機関、社会的養護とソーシャルワーク、社会的養護の動向と方向性について理解する。													
	到達目標					学習成果 I		学習成果 II		学習成果 III				
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	1. 社会的養護、社会的養護の理念と基本的原理、社会的養護において保育士に求められる視点について理解する。					◎		○		○				
	2. 日本における社会的養護の歴史、子どもの権利、社会的養護にかかわる法令、社会的養護の実施体制としくみについて理解する。							◎	○	○	◎	◎		
3. 施設養護の実際、里親養育の基本原則と実際、里親制度、ファミリーホーム、養子縁組制度について理解する。					◎		○			○	◎			
4. 児童福祉施設の専門職の役割、日常生活・自立を支援する専門職、専門職に求められる倫理、児童家庭福祉にかかわる機関について理解する。							◎	◎		◎		◎		
5. 社会的養護におけるソーシャルワークの有効性と基本原則、社会的養護の動向と方向性について理解する。								○	○	○		◎		
凡例 ◎：学習成果 I～III を獲得するために特に重要な目標、○：学習成果 I～III を獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はiv ページ参照														
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習							
1	オリエンテーション 第 1 章「現代社会における社会的養護の意義」	シラバスに目を通しておく。教科書 P18～P27 を読み、第 1 章の概要を理解しておく。	授業の流れと評価の方法について理解する。 社会的養護の理念と基本原理を学び、社会的養護において保育士に求められる視点を理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。							
2	第 2 章「現代社会における社会的養護のニーズ」	教科書 P30～P42 を読み、第 2 章の概要を理解しておく。	子どもと家庭を取り巻く社会的状況の変化について学び、児童養護問題の発生、近年の養護問題の特徴について理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。							
3	第 3 章「社会的養護の歴史の変遷」	教科書 P44～P54 を読み、第 3 章の概要を理解しておく。	日本における社会的養護の歴史について学び、子ども観の変遷について理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。							
4	第 4 章「社会的養護における子どもの人権」	教科書 P56～P69 を読み、第 4 章の概要を理解しておく。	基本的人権と子どもの権利について学び、子どもの権利保障の視点、権利擁護の取り組みについて理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。							
5	第 5 章「社会的養護にかかわる法令」	教科書 P74～P88 を読み、第 5 章の概要を理解しておく。	社会的養護に関係する法律、子どもの権利擁護のための法律について学び、児童福祉六法、児童虐待防止法、障害者総合支援法、発達障害者支援法について理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。							
6	第 6 章「社会的養護のしくみと実施体制」	教科書 P92～P107 を読み、第 6 章の概要を理解しておく。	社会的養護の体系について学び、施設養護、家庭養護、里親、在宅養護（支援）、相談機関と支援体制について理解する。				章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。							

7	第7章「家庭養護の基本原則と実際」	教科書 P112～P127 を読み、第7章の概要を理解しておく。	里親制度、ファミリーホーム、養子縁組制度について学び、里親制度のしくみ、ファミリーホームの特性、養子縁組制度の概要を理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
8	第8章「施設養護の共通基盤と基本原則」	教科書 P130～P143 を読み、第8章の概要を理解しておく。	施設養護の特質、基本原理、展開過程について学び、施設養護のインケアの実際、自立支援計画の策定について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
9	第9章「施設養護の実際1（児童養護系施設）」	教科書 P146～P158 を読み、第9章の概要を理解しておく。	乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設を取り巻く現状について学び、乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設の概要について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
10	第10章「施設養護の実際2（障害児系施設）」	教科書 P164～P175 を読み、第10章の概要を理解しておく。	障害児施設を取り巻く状況の変化について学び、障害児入所施設、児童発達支援センターの概要を理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
11	第11章「施設養護の実際3（治療・行動系施設）」	教科書 P180～P188 を読み、第11章の概要を理解しておく。	児童心理治療施設、児童自立支援施設を取り巻く現状について学び、児童心理治療施設、児童自立支援施設の概要を理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
12	第12章「在宅支援—地域支援機能の充実—」	教科書 P194～P207 を読み、第12章の概要を理解しておく。	社会的養護における在宅支援の体制と地域支援のあり方について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
13	第13章「社会的養護にかかわる専門職」	教科書 P210～P221 を読み、第13章の概要を理解しておく。	児童福祉施設の専門職の役割、専門職に求められる倫理、社会的養護にかかわる専門機関について学び、専門職、専門機関について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
14	第14章「施設の運営管理」	教科書 P226～P237 を読み、第14章の概要を理解しておく。	施設運営、施設の組織、施設運営のしくみについて学び、施設運営の概要を理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
15	第15章「社会的養護の必要性と展望」	教科書 P240～P248 を読み、第15章の概要を理解しておく。	社会的養護の動向、社会的養護の方向性に関する新たな課題について学び、今後の社会的養護における保育士の役割について理解する。	章末「まとめてみよう」に取り組み、学んだことを整理する。
成績評価	授業への取り組み (20%) 課題等の提出 (20%) 期末試験 (60%) 合計 100%			
教員からのコメント	子どもを取り巻く社会的状況の中でも、社会的養護は社会の病理を映し出すか鏡と言われ、子どもの権利が侵害されている状況にあります。どのような社会的状況にあっても、子どもの最善の利益を保障していくために、社会的養護に関する法制度を学び、子どもを支える保育者となることを期待しています。保育士は保育所の他に乳児院や児童養護施設などの児童福祉施設で資格を生かして働くことができます。これらの施設等の基礎知識を身につけ、子どもの状況、状態に応じた最善の利益について考えていきましょう。保育実習Ⅰ（施設）に向けて基礎的な知識を身につけてください。授業での学びを生かして実習に臨めるよう準備をしてください。また実習後には、実習での経験を生かして学びを深めていきます。			
教科書	書名 保育と社会的養護Ⅰ 著者 大竹 智・山田 利子 発行所 株式会社 みらい	推薦図書	書名 必要に応じて随時紹介する。 著者 発行所	